教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 教育学科　　資格： 教授　　氏名： 今村　一博

研究分野	研究内容のキーワード
英語教育、応用言語学、国際教育	リーディング、語彙、視線解析、語彙性判断課題、多読、情意、小学校英語、国際教育
学位	**最終学歴**
博士（学術）	神戸大学大学院博士課程後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.英語多読	2018年4月～現在	作成した読書記録用紙（Reading Marathon Sheet）を使用して、図書館の英語多読用図書を課外で読む指導を行った。また多読期間前と多読期間後に読む速さを測定し（１分間当たり何語読めるか）、多くの学生が読む速さが向上することを確認できた。
2.ビブリオ・バトルによる英語多読の促進	2014年10月～現在	ビブリオ・バトル形式で、課外で図書館の英語の本を多読した中で各自が好きな本を持参して紹介し、紹介を聴いた者が、その本をどれだけ読みたくなったかを判断基準に投票して勝者を決める大会を実施した。
3.インターネットを利用した外国の大学、高校との協同授業	1998年6月～現在	ハワイ、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア等の外国の大学、高校とインターネットを利用した協同授業を実施してきた。外国側、日本側が各々グループ毎にテーマに沿ったプレゼンを相互に行い質疑応答した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.実用英語技能検定（英検）1級	1999年11月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.英検面接委員（準1級～３級）	2007年7月～現在	実用英語技能検定（英検）面接委員（準1級～３級）
4 その他		
1.教育表彰	2015年４月	教育表彰（他1名と共同受賞、筆頭）「英語多読プログラムを中心とした英語の学習量を増やす指導」神戸市立工業高等専門学校

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.『New Flag English Communication Ⅲ』	共	2018年4月	増進堂	(文部科学省検定済教科書)　鈴木寿一・清水裕子・溝畑保之・今村一博他、全167ページ　単独執筆: Chapter5, 6, 10 執筆及び編集委員
2.『New Flag English Communication Ⅱ』	共	2017年4月	増進堂	(文部科学省検定済教科書)　鈴木寿一・清水裕子・溝畑保之・今村一博他、全167ページ　単独執筆: pp.22-37, pp.67-77, p.6, p.16, p.26, p.136 及びCh.1～Ch. 10の全てのFocus on Grammar、執筆及び編集委員
3.『New Flag English Communication Ⅰ』	共	2016年4月	増進堂	(文部科学省検定済教科書)　鈴木寿一・清水裕子・溝畑保之・今村一博他、全159ページ　単独執筆: pp.21-29, pp.95-105, p.20, p.70, p.139, p.150 及びCh.1～Ch. 10の全てのFocus on Grammar、執筆及び編集委員
4.『New Stream English	共	2014年4月	増進堂	(文部科学省検定済教科書)　鈴木寿一・溝畑保之・今村一博他、全143ページ　単独執筆：p.13,p.25,Ch.5(pp.56-61),Ch.8(pp.78-85)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
Communication Ⅲ Strategic Reading Focus: Standard 』				執筆及び編集委員
5.『New Stream English Communication Ⅱ」	共	2013年4月	増進堂	(文部科学省検定済教科書) 鈴木寿一・溝畑保之・今村一博他、全188ページ 単独執筆: Ch.1(pp.7-21), Ch.4(pp.55-69), p.108, p.124 執筆及び編集委員
6.『BIG DIPPER English Course Ⅱ TEACHER' S MANUAL』	共	2008年4月	数研出版	(文部科学省検定済教科書 指導者用解説書) 斉藤隆文・今村一博他、全270ページ、計10課の各課末の「Review」、「Drills」、及び各パートの「Hints for Understanding」(合計約22ページ相当分)
7.『BIG DIPPER English Course Ⅱ』	共	2007年4月	数研出版	(文部科学省検定済教科書) 森岡裕一・今村一博他、全159ページ、単独執筆: 各課(Lesson 1- Lesson 10)の「Drills」,「Review」等 (合計約22ﾍﾟｰｼﾞ相当分) 及び本文共同執筆
8.『BIG DIPPER English Course Ⅰ TEACHER' S MANUAL』	共	2007年4月	数研出版	(文部科学省検定済教科書 指導者用解説書) 斉藤隆文・今村一博他、全255ページ、 単独執筆:「授業展開例」、「題材のねらい」等(合計約14ページ相当分)
9.『BIG DIPPER English Course Ⅰ』	共	2006年4月	数研出版	(文部科学省検定済教科書) 森岡裕一・今村一博他、全151ページ、単独執筆: 各課(Lesson 1- Lesson 10)の「Drills」,「Review」等 (合計約22ﾍﾟｰｼﾞ相当分) 及び本文共同執筆
2 学位論文				
1.「日本人英語学習者に対する多読指導の研究：情意、知識・運用力、認知への影響」	単	2011年3月	神戸大学	博士論文
2.「How Extensive Reading for Japanese EFL High School Students Interrelates with Their Affect and Reading Strategy Awareness: Longitudinal Study 」	単	2007年3月	神戸市外国語大学	修士論文
3 学術論文				
1.読解の正確さ・速さと語彙知識の広さ・深さ，文法知識，聴解の関係: 縦断的研究	単	2023年10月	『Language Education & Technology』、外国語メディア学会(LET) , 60, pp. 77 ― 95	119人の日本語を母語とする英語学習者を対象に、6種類のプレテストを行い、8か月半後にポストテスト行う縦断的研究を実施した。結果として、1)読解の正確さと流暢さには、弱い相関関係が見られ、プレの読解の正確さから、ポストの読解の速さを予測することができた、2)聴解力、語彙の広さ、文法知識、語彙の深さは、読解の正確さと有意な相関関係を示した、3)プレにおいては、文法知識が読解の流暢さと最も高い相関を示したが、ポストにおいては語彙の広さが読解の流暢さと最も高い相関を示した。
2.「初級英語学習者と中級英語学習者の読解中の眼球運動はどのように異なるか？ ―予備的研究―」 (査読付)	単	2022年4月	『LET関西支部研究集録』外国語教育メディア学会関西支部、20, pp.19-32	視線解析(眼球運動)を利用した調査結果から、初級から中級へ英語習熟度が向上すると、英文読解中の注視回数、1回当たりの平均注視時間(注視継続時間)が減少する可能性が示された。一方、英語の文章中の指定エリアを読む時、中級学習者は初級学習者と比べて、エリア内の各単語における初回注視時間と滞在時間(単語から出て戻ってきた時間を含む)に関して有意に短いが、滞在回数は有意差が無かった。これらの結果より、英文読解中の注視に関する諸側面を詳細に見ると、初級から中級への習熟度の向上によって、回数や時間に関して一律に向上するのではなく、各側面によって異なることが明らかとなった。
3.「Semi-structured Interviews on Extensive Reading for Japanese	単	2020年6月	『Proceedings of the Fifth World Congress of Extensive	国際学会 The Fifth World Congress of Extensive Reading のプロシーディング。近年、英語多読の学習者に対する量的研究が盛んに行われているが、量的研究によって調査することができない側面が多くあると考えられている。そこで、本研究では46人の日本の大学

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
University Students 」（査読付）			Reading』pp.125-134	生を対象に3か月間の多読期間の後、自由記述式質問紙調査を実施した後、その中の6人の学生を対象に半構造化面接調査を実施することにより、複雑で多面的な多読の影響を質的に調査・研究した。
4.「海外短期研修が高専生の英語の技能・知識及び情意面へ及ぼす影響」（査読付）	単	2018年4月	『神戸市立工業高等専門学校研究紀要』,神戸市立工業高等専門学校, 56, pp. 11―15	ニュージーランドで実施された2週間の海外短期研修が及ぼす影響を6件法及び自由記述式の質問紙によって調査したところ、①英語の本に対する興味・関心、②毎日英語を学習することに対する動機づけ、③英語のリーディング力、ライティング力、語彙力を高めたいという動機づけ、④英語で多様な人々とコミュニケーションしたいという動機づけが高まっていた。また⑤英語のテストに対する不安が緩和された。短期研修でも多面的な好ましい影響が見られた。
5.「リーディング中の眼球運動 に関する研究 について」（査読付）	単	2016年4月	『神戸市立工業高等専門学校研究紀要』,神戸市立工業高等専門学校, 54, pp. 16―19	L1におけるリーディング中の眼球運動に関する研究は一定の成果をあげてきているが、L2におけるリーディング中の眼球運動に関する研究はまだ十分に行われているとは言えない。また研究手法も確立していない。そこで、L1とL2における眼球運動を利用した主な先行研究を概観した後、どのようなデータを分析対象とするべきかに関して提案を行った。
6.「自由記述式回答用紙を用いた英語多読に関する研究―テキストマイニングを援用して―」（査読付）	単	2016年2月	『中部地区英語教育学会紀要』、中部地区英語教育学会, 45, pp.297―304	自由記述データを用いた研究は、第一に学習者自身が直接自由に記述したものであるので、研究者や指導者が想定していなかった知見が見いだされる可能性がある。第二に質的データとしての重要性が高い。そこで、本研究ではデータマイニングを用いて、より客観的な調査となるようにしながらも、量的研究で見いだせなかった知見を得るべく英語多読が情意・読解ストラテジーに及ぼす早い段階での影響を調査した。
7.「英語指導者を対象にした多読に関する質問紙調査から―予備的研究―」（査読付）	単	2015年4月	『神戸市立工業高等専門学校研究紀要』, 神戸市立工業高等専門学校, 53, pp. 67―71	中学校と高校の英語の先生を対象に質問紙調査を行ったところ、英語多読の指導をしない理由として、指導法を知らない、多読が指導する学習者には適していないと回答する者が多かった。また中学校では多読の機会を与えない指導者が多いこと、指導する生徒の英語習熟度が低いと考える先生は多読指導をしない傾向が見られた。多読の期待される効果として、読みの速さ、英語・英語学習に対する態度・動機つけ、単語認識の速さの向上を挙げる先生が多かった。
8.「語彙及び読みに関する諸側面の相互関係」（査読付）	単	2015年3月	『LET関西支部研究集録』、外国語教育メディア学会関西支部, 15, pp. 43-66	語彙及び読みの関係を調査したところ、1)時間的プレッシャーのある読みの速さは、語彙の広さ、高頻度な単語・コロケーションの認識の速さと相関する、2)時間的プレッシャーのない読みの正確さは、語彙の広さとは相関するが、高頻度な単語・コロケーションの認識の速さと相関しない、3)語彙の広さは、時間的プレッシャーのある読みの速さと、時間的プレッシャーのない読みの正確さの双方に相関する、4)読みの速さは、読みの正確さと相関しなかった。
9.「高校在学中の英語多読が大学生へ及ぼす情意面への影響」（査読付）	単	2015年1月	『中部地区英語教育学会紀要』、中部地区英語教育学会, 44, pp.217―224	国内のA国立大学の1～3年生を参加者として、在籍した高校の英語の授業に関してリカルト式質問紙調査を行った。結果として、大学生の現在、高校で多読を経験した者の方が、英語、英語学習、英語を読むことに対して好意的な感情を示した。しかし自律的に個人で英語の学習を、特に多く行っているわけではないことが明らかとなった。
10.「工業高等専門学校生の英語及び英語学習に対する態度・動機づけについて」（査読付）	共	2014年3月	『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』、全国高等専門学校英語教育学会, 33, pp. 114－123	高専1、3年生を対象に英語・英語学習に対する態度・動機づけを質問紙調査した結果、学年間に統計的有意差は見られなかったが、異文化や異文化交流に対する関心に関して、及び文法、読解、作文、語彙の力をつけてテストでよい点をとりたいという動機づけに関して、学科間に有意差が見られた。数人の指導者が共通して日常的に認識していた点もあるが、経験の長い指導者も認識していない点も見いだされ、使用された質問紙の広い利用の可能性が示唆された。著者名：今村一博・柳生成世
11.「英語多読が単語・コロケーション及び上位語・下位語の認識速度に及ぼす影響」（査読付）	単	2013年3月	『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』、全国高等専門学校英語教育学会,32,pp.67－76	約3万語の多読によって、単語の認識速度が向上することが確かめられた。単語では親密度が高い方が、語長が長い方が、多読によって認識速度が向上する傾向が見られた。品詞については、動詞は他の品詞よりも認識速度が向上する可能性が示唆された。
12.「How Extensive Reading, Reading	単	2012年3月	Extensive Reading World	国際学会 The First World Congress of Extensive Reading のプロシーディング。。日本語母語話者を対象に、英語多読での読書量(語

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Span, and Reading Speed Are Interrelated」（査読付）			Congress Proceedings, 1, pp. 124―127	数)、英語によるリーディング・スパン(RS)、英文の読みの速さの関係を調べたところ、1)読書量はRS及び読みの速さの向上と相関し、2)RSの向上は読みの速さの向上と相関した。ワーキンメモリの容量は一定であるが、英語多読によって英文を読む負荷が下がったことによって、英文を記憶することに、より多くの容量を費やすことができるようになったと考察される。
13.「多読が単語・コロケーション・定型句・反義語の認識(アクセス)速度に及ぼす影響」　（査読付）	単	2011年6月	『Language Education & Technology 』、外国語メディア学会（LET),48, pp. 185－214	多読によって読みの流暢さの必要条件である単語や句の認識速度が向上するかどうか心理言語学的調査を行ったところ、高頻度の単語・コロケーションに対しては効果が実証されたが、定型句、反義語の認識速度に対する効果は見られなかった。
14.「多読に対する態度・動機の変化：質問紙による時系列調査」　（査読付）	単	2009年3月	『英語教育研究』、関西英語教育学会, 32,　pp, 117―126	8か月半の多読期間に計4回質問紙調査を行って統計処理をしたところ、情意面に対する効果は短期間で変化していることがわかった。例えば読みの速さに対する効果は特に早い段階から学習者が認識していた。
15.「高校生に対する多読指導と、情意・読解ストラテジー・読解力との関係：個人差要因に注目して」（査読付）	単	2008年3月	『英語教育研究』、関西英語教育学会, 31, pp. 27－36	多読期間前の英語・英語学習に対する態度・動機によってクラスター分析を行って調査したところ、多読前の態度・動機の違いによって多読の影響は異なることが示された。
16.“The Effects of Extensive Reading for Japanese High School Students on their Reading and Listening Abilities, Vocabulary and Grammar”　（査読付）	単	2008年3月	Annual Review of English Language, Japan society of English Language Education, 19, pp. 11-20	初級英語学習者を対象にした多読によって、読みの速さ・正確さ、語彙の広さに対しては効果が実証されたが、聴解、スペリング、文法知識に対しては有意な効果が見られなかった。語彙に関しては、参加者の記述アンケートから以前に一旦は意味を覚えたが忘れてしまっていた単語に関して、多読をする中で意味を思い出せるようになった単語が一定量増えたと推察される。
17.「高校生に対する多読指導と情意、使用する読解ストラテジーの認識との関係　－縦断的研究－」（査読付）	単	2007年３月	『Language Education & Technology』、外国語メディア学会（LET）, 44, pp. 87 ― 106	8か月半の多読指導を行ったところ、英語及び英語学習に対する心的態度が向上するなど、広く情意面における好ましい影響が実証された。またglobal strategyに関係する読解ストラテジーの向上も実証的に示された。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
1.「『量』と『動機づけ』を重視した英語指導」	単	2007年3月	外国語教育メディア学会関西支部中高授業研究部会	英語教員向け公開講座において、英語教育の授業内及び授業外の指導に関して講演を行った後、英語指導に関するパネルディスカッションのパネラーを務めた(場所：京都教育大学)。
２．学会発表				
1.Does graded reader difficulty affect improvement in learner reading speed?	単	2023年8月	The 6th World Congress of Extensive Reading	The 6th World Congress of Extensive Reading, Denpasar Aston Hotel, Indonesia
2.リーディング中の注視回数と長さ－習熟度による違いが見られるか－	単	2021年6月	中部地区英語教育学会	中部地区英語教育学会　第50回記念大会、オンライン発表
3.Qualitative research through semi-structured-interviews on extensive reading for Japanese	単	2019年8月	The 5th Extensive Reading World Congress	The 5th Extensive Reading World Congress, Feng Chia University,Taichung

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
university students				
4.「海外短期研修が高専生の英語の技能・知識及び情意面へ及ぼす影響」	単	2017年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会第43回全国研究大会、熊本・島根大学
5.「英語多読の影響ーリーディング中の眼球運動による調査ー」	単	2016年9月	全国高等専門学校英語教育学会	第38回全国高等専門学校英語教育学会研究大会、東京・オリンピック記念青少年総合センター
6.「英語多読が情意、読解ストラテジーに及ぼす早い段階での影響」	単	2016年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第42回全国研究大会、埼玉・獨協大学
7.「英語多読の早い時期における影響」	単	2016年6月	中部地区英語教育学会	第46回中部地区英語教育学会　三重大会、三重：鈴鹿医療科学大学
8.「自由記述式回答用紙を用いた英語多読の研究」	単	2015年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第41回全国研究大会、熊本・熊本学園大学
9.「日本の学校における英語多読に関する質問紙調査から」	単	2014年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第40回全国研究大会、徳島・徳島大学
10.「工業高等専門学校生の英語及び英語学習に対する態度・動機づけについて」	共	2013年9月	全国高等専門学校英語教育学会	今村一博・柳生成世　第37回全国高等専門学校英語教育学会研究大会、京都・京都府中小企業会館
11.「語彙及び読みに関する諸側面の相互関係」	単	2013年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第39回全国研究大会、札幌・北星大学
12.「英語多読が，単語・句の認識速度に及ぼす影響 」	単	2012年9月	全国高等専門学校英語教育学会	第36回全国高等専門学校英語教育学会研究大会、東京・オリンピック記念青少年総合センター
13.「多読が単語・コロケーション・定型句・反義語の認識(語彙アクセス)速度に及ぼす影響」	単	2010年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第36回全国研究大会、大阪・関西大学
14.「多読が単語認知に及ぼす効果・影響」	単	2009年8月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第35回全国研究大会、鳥取・鳥取大学
15.「英語習熟度の違いによる「英語・英語学習に対する態度・動機づけ」、「使用する読解ストラテジー」の違い：習熟度の異なる三つの高校の生徒を対象とした質問紙調査から」	単	2009年8月	外国語教育メディア学会	外国語教育メディア学会　第49回全国研究大会、兵庫・流通科学大学
16.「EFL/ESL learnersに対するextensive reading研究について」	単	2008年10月	神戸大学国際文化学研究科	神戸大学国際文化学研究科シンポジウム「文化情報リテラシーと今日の文化研究」兵庫・神戸大学
17.「高校生に対する多読指導の効果-実証的研究	単	2008年6月	関西英語教育学会	関西英語教育学会　第12回研究大会、大阪・関西大学
18.「高校生に対する多読指導の効果-実証的研究-」	単	2007年８月	全国英語教育学会	全国英語教育学会　第33回全国研究大会、大分・大分大学
19.「高校生の多読指導	単	2007年6月	関西英語教育学会	関西英語教育学会　第11回研究大会、大阪・摂南大学

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
が情意、読解ストラテジー、読解力、速読力に及ぼす影響―クラスター分析を利用した実証的研究―」				
20.「高校生に対する多読指導と情意、読解ストラテジーとの関係」	単	2006年8月	外国語教育メディア学会	外国語教育メディア学会 第46回全国研究大会、京都・京都産業大学
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.「英語多読を実施しているクラスの質問紙から」	共	2014年4月	神戸市立工業高等専門学校総合情報センター広報，神戸市立工業高等専門学校，26，pp. 15-17	初級英語学習者に対して課外での英語多読の指導を行って3か月余り経った段階で、7件法、選択式、記述式の質問紙調査を行い、その結果を分析した。「日本語の本を読むのは楽しい」と「英語の本を読むのは楽しい」の間には有意な相関があるが，弱い相関しかないこと等が見いだされた。著者名：今村一博・柳生成世
2.「英語多読について」	単	2013年４月	神戸市立工業高等専門学校総合情報センター広報,神戸市立工業高等専門学校，25，pp.29-30	英語多読に関して、方法、影響、課題等について多くの人に分かりやすく述べた。
６．研究費の取得状況				
1.「日本人英語学習者の読解における眼球運動データバンク構築に向けた縦断的・横断的研究」	単	2023年4月～2028年3月	日本学術振興会	科学研究費・基盤研究（B）、課題番号：23H00652、 代表、 研究分担者：横川博一、佐々木顕彦、濱田彰、高越義一、藤永史尚
2.「初級英語学習者の技能・知識の関係と発達：読みと語彙の諸側面を中心にして」	単	2017年4月～2024年3月	日本学術振興会	科学研究費・基盤研究（C）、課題番号：17K02920　代表
3.「英語多読が読み・語彙・情意の諸側面に及ぼす影響はどのように関係するか」	単	2014年4月～2017年3月	日本学術振興会	科学研究費・基盤研究（C）、課題番号：26370721　代表
4.「英語多読が，単語・句の認識速度に及ぼす影響」	単	2012年4月～2013年3月	日本学術振興会	科学研究費・奨励研究、課題番号：23908004　代表
5.「英語多読プログラム」	単	2007年６月	大阪府	大阪府スクール・サポート・プラン(大阪府内の教育機関における競争的資金による教育研究費）代表
6.「テレビ会議システムを利用した外国の諸学校との協同授業を行える多目的教室の整備」	単	2004年6月	大阪府	大阪府スクール・サポート・プラン(大阪府内の教育機関における競争的資金による教育研究費）代表

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2018年～現在	西宮市立鳴尾小学校学童生徒に対する英語・英語活動指導（教育演習ゼミ）
2.2016年	関西英語教育学会査読委員
3.2000年7月～現在	実用英語技能検定（英検）面接委員
	所属学会：全国英語教育学会、関西英語教育学会、外国語教育メディア学会、大学英語教育学会、日本

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
６．研究費の取得状況	
	児童英語教育学会